

第136号 ボランティア通信

令和元年台風第19号 宮城県丸森町へ災害支援に行ってきました

能代市社会福祉協議会 鈴木 智恵美

令和元年10月の台風19号は、東日本各地に甚大な被害をもたらしました。

各地で人的被害をはじめ、堤防の決壊による住宅への浸水被害、土砂崩れによる家屋の崩壊等が発生し、複数の市町村に災害救助法が発令されました。

これにより、各市町村社協にも応援要請があり、宮城県伊具郡丸森町へ災害ボランティアセンターの運營業務に、令和元年11月14日～18日 渡邊 慶太、令和元年12月6日～10日 鈴木 智恵美が行ってきました。



丸森町は、阿武隈川の支流をはじめ多数の川を有し、盆地という地形もあって過去に何度も水害にあってきました。舟下りやキャンプ等の観光は盛んな町で自然豊かな町でした。

10月12日は、台風19号の影響により朝からしとしとと雨が降り続き、午後3時半には、避難勧告エリアメールが町民に送られました。日没後、風雨はさらに強まり、数時間の間に各地で浸水被害が発生。自衛隊等、様々な手段で被災者の救出を試みましたが、死者10人、行方不明者1人の甚大な被害となってしまいました。

災害ボランティアセンターが設置されてからは、全国から多くのボランティアが丸森町を訪れ、多い時は600人を超える方々が土砂の撤去作業や家屋周辺に流れついたゴミの収集、家財の洗浄作業や掃除など、様々なニーズに対応してくれていました。

被害にあった住民の方は、被災したショックのあまり何から始めればいいのか右も左も分からない状態の時に、ボランティアに仕事を頼むことを拒む人もいたようですが、懸命に活動する姿を見てニーズも増えていったと聞きました。



また、炊き出しボランティア、作業終了したボランティアを励ますためのコーヒーサービスのボランティア、地元婦人会がおはぎの差し入れボランティアなど、地域全体が支え合う空気になっている印象でした。

丸森町災害ボランティアセンターの運営のため応援に行ってきましたが、多くのことを学ばせていただきました。丸森地区の、土砂に飲み込まれてしまった地域の日も早い復興を心からお祈りしています。

令和元年度 災害ボランティアスクール

災害ボランティアを育成し、被災地でのボランティア活動の支援と協力を行うため、災害ボランティアの基礎的な知識を学ぶことを目的に開催します。

◎日 時 令和2年3月12日(木) 午前10時～午後3時

◎会 場 能代ふれあいプラザ 2階 集会交流室

◎対 象 災害ボランティアに関心のある方

◎内 容 講話「災害ボランティアの基礎知識」(仮題)及び演習
台風19号の被害を受けた地域の現状や、
災害ボランティア活動についての基本や注意点、
災害ボランティアセンターの役割などを学びます。

◎講 師 ウェザーハート災害福祉事務所 代表
山形県自主防災アドバイザー 千川原 公彦 氏

◎申込・問合せ 能代市社会福祉協議会 電話 89-6000



伝言板

第32回NHK厚生文化事業団 地域福祉を支援する「わかば基金」のご案内

「わかば基金」は、地域に根差した福祉活動を展開しているボランティアグループやNPOの活動の幅を広げるため3つの方法で支援しています。

支援金部門

最高100万円

活動の幅を広げたい!

リサイクルパソコン部門

ノートパソコン3台まで

活動の充実を図りたい!

災害復興支援部門

最高100万円

被災地に必要な事業を
したい!

申請締切 令和2年3月31日（火）必着（郵送のみ）

詳しくは、ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp/>

申込み・問い合わせ先 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係

電話 03-3476-5955 mail info@npwo.or.jp



【連絡先】

能代市ボランティアセンター

TEL：89-6000 FAX：89-6800

【お願い】

この通信をご覧になってのご意見・感想をお寄せください。